

< 報道資料 >

平成 14 年 12 月 16 日
東北パイオニア株式会社

有機 EL ディスプレイ 累計総出荷数 500 万枚突破！！

東北パイオニア株式会社（本社：山形県天童市 代表取締役社長：山田昭一）では、カーステレオ用及び携帯電話機用として供給しているパッシブ型有機 EL ディスプレイの累計総出荷数が、平成 11 年 3 月から平成 14 年 11 月末までの集計で 500 万枚を突破いたしました。平成 15 年 3 月には、累計で 700 万枚を突破する見込みとなっております。

出荷枚数が順調に増加している主な理由としては、今年の 5 月にサブディスプレイとして搭載した、NTTドコモの富士通製「ムーバ F504 i」、また韓国 LG 電子の携帯電話「LG - SD1100、LG - KP6100」の売れ行きが好調なことがあげられます。特に LG 電子の携帯電話は韓国国内で爆発的な人気商品となっているほか、同社が最近出展した中国やベトナムなど東アジア各地の展示会でも関係者から大きな関心が寄せられています。

現在供給している有機 EL ディスプレイは、米国コダック社の特許を受け、パイオニア株式会社が技術開発し、平成 9 年に東北パイオニア株式会社が国内メーカーとして初の量産化に成功したものです。カーステレオ用ディスプレイとしては、平成 11 年 5 月よりパイオニア株式会社に、平成 14 年 3 月には、株式会社ケンウッドに出荷を始め、カーステレオ用の累計出荷数は約 220 万枚となっております。また、携帯電話機用としては、メインディスプレイ用として米国モトローラ社に平成 12 年 1 月に出荷を開始し、国内向けとしては富士通製「ムーバ F504 i」に、また LG 電子「LG - SD1100、LG - KP6100」に、サブディスプレイ用としてそれぞれ今年の 5 月に供給を開始し、今回の集計結果では累計出荷数約 300 万枚となり、来年 3 月末までには、携帯電話用パネルだけで、450 万枚、総トータルで累計出荷数 700 万枚を突破する見込みです。

有機 EL ディスプレイの特徴は、高輝度・高コントラスト・低消費電力・高速応答・使用温度範囲が広い等があり、今後、車載用パネル、医療機器、計測器、OA 機器、各種電気製品のパネル等、様々なアプリケーションへの展開が見込まれ、その用途の提案や新たな市場開発までを見据えた製品開発を積極的に行っています。

来年前半には、当社初のフルカラー（パッシブ駆動型）を市場投入する予定で、また、将来の動画対応ディスプレイの主役と目される、アクティブフルカラータイプについても、量産化を目指し、開発を続けています。

【この件に関するお問い合わせ先】

東北パイオニア株式会社 広報部 中澤・稲葉 TEL：023-654-9198/FAX：023-654-9526